



ヒマワリは、どうしてあんなに大きく育つの

ヒマワリが大きく育つ種類の植物だから

生き物は、ほとんどどれも、どのくらいの大きさまで成長するか、種類によって、だいたい決まっています。人間も、20才ぐらいまで成長が続きますが、それをすぎると、太ることはあっても、背はもうのびなくなります。そして、人によって、背の高さは少しちがいますが、ふつうの大人の2倍以上も大きい人はいません。アリが、イヌやネコほどの大きさになることもありません。

ヒマワリは、大きく育つ種類の植物だから大きくなるのです。

決まった時期をすぎると、細胞が増えなくなる

動物も植物も、みんな、その体は、細胞でできています。ヒマワリが、種から芽を出し大きくなっていくのは、種の中の細胞が、どんどん細胞分れつ(一つの細胞が割れて、数を増やしていく)をし、新しい細胞の数が増えていくからです。でも、成長する時期をすぎると、細胞の数は増えなくなります。

また、日光や水や栄養分がたっぷりあり、さらに、元気に生きていける気温や、のびていける空間がなければ、ヒマワリは、本来の大きさまで、大きくなれません。ひかげのヒマワリや、小さいはちに植えたヒマワリは、地面でのびのび育ったヒマワリほど大きくなれません。育つ条件がそろわないと、ちゃんと成長できませんし、花も小さく、いい種がとれません。じゅ命も短くなってきます。(監修・矢野 亮)

